



オフィスでは各自PC作業に集中しながらも、気軽に周りに声をかけて相談できる雰囲気。「わからないことは先輩方に何でも優しく教えていただけます」と徳永さん

初はマニュアル通りに説明するだけで精いっぱいでしたが、少しずつ慣れてきて、場の反応を見ながら臨機応変に話せるようになってきました。このこと。物腰柔らかく、かつわかりやすく説明するスキルは、社内でも高く評価されているという。

実は大学の専攻は人文系で、入社するまでITの知識はまったくなかったという徳永さん。入社の際に「ITについては、ITの仕事に対して漠然と、かっこいいというイメージがありました。文系でもIT業界を目指せると聞いて何社か回って見た

ところ、「OEC」は社内の雰囲気や和気あいあいとしていて、楽しそうだと感じました」と話す。専門知識を学んだ経験がなくても、入社後2か月の研修で基礎からしっかりと習得可能。配属後もOJT制度があり、きめ細やかに教えてもらえるので、安心して仕事に慣れていくという。今後の目標については「これから後輩がきたら、自分が先輩にしていたように親身に接して、頼りにしてもらえ存在になりたいですね」と、充実した表情で話してくれた。

2023年2月号  
「タウン情報おかやま」に掲載されました!



OEC株式会社  
の若手社員に密着!

① 一日のスケジュール

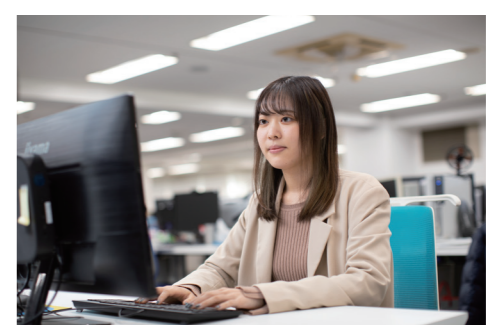
8:30	出社 その日のスケジュールを確認し、メールをチェック
9:00	顧客対応 自分だけで解決できないときは、チームで知恵を出し合う
12:00	昼食・休憩 昼食はお弁当を持参。自分のデスクで食事をとり、休憩
13:00	顧客対応 導入先に足を運び、現地で原因を調べて対応することも
17:30	退社 業務の都合でときには残業もあるが、基本的には定時で退勤

「文系でもIT業界を目指せると聞き、挑戦してみようと思いました。」

1969年の創業以来、システムソフトウェアの開発から導入、保守までを一貫して手掛け、顧客にとって最適なソリューションを提供してきた「OEC」。自治体や医療機関、民間企業など幅広い業界の現場に寄り添い、システムの力でさまざまな業務課題の解決を図っている。

入社して2年目の徳永莉乃さんは、自社開発のパッケージシステムに携わる部署に所属し、システムエンジニアとして公共・学校図書館向けシステムの保守を担当している。同社が自社で開発した図書館管理システムは、全国で約3200校の小・中・高専門学校や公共図書館などに導入されており、これらユーザーが

ICT技術やノウハウを駆使し、顧客の課題解決を総合的にサポート。



親睦を深める  
社内クラブ活動

テニスやアウトドア、サイクリングなど、8つのクラブが活動中。コロナ禍で活動自粛傾向にはあるものの多くの社員が参加し、部署や世代を超えて楽しく交流している



徳永莉乃さん  
Profile

岡山市内の大学の人文系学部で日本語学を専攻。オフタイムは友人と気になるカフェめぐりやおしゃべりしたり、県外にいる同期の仲間とLINEでやりとりしたりとリフレッシュしているそう。

子育てしやすい  
制度が充実

女性社員の産休・育休の取得率は100%。復帰後も子どもが小学3年生までは時短勤務ができる。男性の育休取得も浸透してきており、1年間の休みを取った例もある



SDGsに向けた  
プロジェクト発足

社内公募で立候補したメンバーが集まり「SDGsプロジェクト」がスタート。SDGsの達成に向けて会社としてどんな取り組みができるか、意見を出し合っている



オーイーシー  
OEC株式会社  
岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル  
TEL.086-227-1121  
https://www.oec-o.co.jp/



Pick up! 健康経営



「健活企業」として健康経営に取り組んでおり、2020年より毎年「健康経営優良法人」に認定。社内で体力チェックができる「bonbone check」を導入するなど、仕事の合間に楽しみながら健康について意識してもらう機会を設けている。

また客先で操作方法などの説明をするインストラクターを務めることもあるといい、これについては「最

らの問合せに対応することが、徳永さんの主な業務。「トラブルが発生した」「使い方がわからない」といった相談に対して、詳しく状況を聞くなどして解決の方法を探り、電話でサポートしきれない場合には先輩とともに現地に向かい対応する。「問合せ内容は多岐にわたるので、その都度勉強して覚えることの繰り返しですね。なかなか原因がわからなかったトラブルを、上司と一緒にねばり強く対応し解決できたときには、お客さまからファックスで丁寧なお礼の文書をいただき、とてもうれしかったです」と話す。